

右？左？国政選挙の考え方、前編

駅頭での活動や、7年前からのライフワーク、日中に皆さんのお宅を伺い、困り事や意見を伺う活動の際に聞かれる事があります。「あなたは右の考えなの？左の考えなの？」結論を言います。右とか左とか、私は1ミリも興味ないので、勝手に判断していただきたいです。ただ、自称右の方からは「お前は左だ！」と言われ、自称左の方からは「その考え方は違う！」と言われ、少し納得がいかない心持ちになる事が多いです。右か左かは置いておいて、日本を良くしたい！市川市を良くしたい！という思いは一緒のはずなのに：変な色眼鏡をなくして考えれば、冷静に議論を尽くせば、本当は分かり合える人なのに：と残念に思います。その上で、国政政党の話になります。「どここの政党に所属しているの？」と聞かれます。私は無所属議員です。誤解を恐れずに言うのであれば、現在の全ての政党に不満を持っています。理由の一端はvol.68「政治家の新しい仕事のあり方」で少し述べましたが『政権をとったA党。B団体の要望↓予算をつける』『やつと政権交代をしたC党。D団体の要望↓予算をつける』という形で処理の仕方は全く同じ。」と考えているからです。その処理のために、たくさん税金を使い、たくさん議員・官僚により、たくさんの方策を行う事で、国民からたくさん喜ばれようという「大きな政府志向」の政党ばかりだからです。紙面の都合で詳細は割愛しますが、勇気をもって「小さな政府」より少ない税金で、より小さな組織で、確実にセーフティネットを維持する形で、私たち市民や民間の力で、市や国を運営していく形を目指せる政党があれば、応援したい！という気持ちがあります。さて、本題の国政選挙の考え方は、既存政党の全部に不満を持っている人はどのように国政選挙を考えれば良いのでしょうか。：紙面の都合もありますので、次回、改めて述べます。いち市議会議員が語るには、繊細な、難しいテーマである事は、重々承知しております。ただ、やはり言いたい事はひとつです。「理想的な社会」を思い描き、話し合ってください。個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されます。今日も1日、素敵な日を過ごさせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成30年4月4日

増田好秀